



大学入試について知っておこう

中間考査も終わり、3年生は進路へ向けて本腰を入れるべき時期となった。4月の進路希望調査結果によれば7割を超える生徒が大学・短大への進学を第1希望にしている。

戦う前には相手を知ることが大切。そこで、現行の大学入試について、基本的な知識をあげてみた。これを機会に未知の内容は調べておこう。1、2年生も、今のうちから大きな関心を持っておこう。(特に1年生から入試制度が大きく変革します。)

【推薦入試】

- ①一般公募推薦と指定校推薦があります。
- ②審査基準の中心は評定平均値(公募では、少なくとも国公立大では4.0以上、私立大では3.2以上と言われます。)
- ③面接・小論文対策も必要です。
- ④併願可の大学もあります。



【AO入試】

- ①自己推薦の人物本位の入試
- ②意欲や将来性が重視されます。
- ③エントリー時期の早期化(もう始まっている大学もあります。)

【センター試験】

- ①平成31年1月19日(土)、1月20日(日)に6教科31科目で実施されます。
- ②英語ではリスニングテストが実施されます。
- ③5教科7科目入試が一般的ですが、3教科や4教科の大学もあります。
- ④短大でも参加校があります。
- ⑤傾斜配点(学科と関係の深い特定の科目に配点を多くする)をする大学が少なくありません。
- ⑥圧縮配点(大学学科ごとにセンター試験と個別試験の比率が違う)に注意が必要です。
- ⑦成績開示を希望できます。(有料)

【国公立大学2次試験】

- ①前期、中期、後期の3回の日程があります。
- ②前期日程一本化が急増(後期を維持する大学もあり、しばらくは共存が予想されます。)
- ③中期日程は実施校は少ないが、チャンスを広げられます。
- ④2段階選抜に注意が必要です。

【私立大学入試】 以下の入試形態に留意しましょう。

- ①複線入試(同じ学部学科でも異なった入試科目の選抜方法が複数用意されます。)
- ②試験日自由選択制入試・得意科目重視制入試
- ③特待生・給費生入試
- ③3月入試
- ④地方入試・センター利用入試の増加

平成 32 年 大学入試が変わる！

大学入試「センター試験」から、大学入試「共通テスト」へ
新たな大学入試制度が平成 32 年から始まる。その改革の概要を紹介しよう。

ベネッセ教育研究所発行「VIEW21」2017 臨時増刊号、記事より抜粋

2020 年度から始まる大学入試改革が、いよいよ具体化してきた。ただ、今回の大学入試改革は、入試単体の改革ではなく、高校教育、大学教育、大学入学者選抜を三位一体で改革する、高大接続改革であることを忘れてはならない。(中略)

大学入試センター試験に代わって 2020 年度から導入される「大学入学共通テスト」は、出題教科・科目は現行と同じだが、各教科・科目の知識・技能を十分に有しているかの評価を行いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に問うのが眼目となる。

その象徴とも言えるのが、**国語と数学での記述式問題の導入**だ。

そして、**英語**では、4 技能評価※₁を導入するために、国が認定する民間事業者実施の**資格・検定試験**(高校 3 年の 4~12 月の間に 2 回受験可能)を活用するが、現行の学習指導要領下で行われる 2023 年度までは、大学入試センターが実施するマークシート方式による 2 技能のテストも続ける。

個別大学の入試では、「一般入試」「AO 入試」「推薦入試」という従来の区分を「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」に改める。それは単なる名称変更ではなく、内容も変わる。

一般選抜では、各大学は AP※₂に基づき、詳細に記述された調査書や志願者本人が記載する資料等も含めて、多面的・総合的に選抜することが求められる。

また、総合型選抜・学校推薦型選抜においては、小論文、プレゼンテーション、教科・科目に係るテスト、「大学入学共通テスト」等のうち、いずれかの活用を必須化する。

さらに、合格発表の時期を、AO 入試にあたる総合型選抜は 11 月以降、推薦入試にあたる学校推薦型選抜は 12 月以降に設定することで、早期合格による高校生の学習意欲低下を防ぎ、卒業まで学力の 3 要素※₃を伸ばして大学での学びにつなげることを目指す。

(以上)

ゴシック体変換と改行は編者が、強調のために行いました。文中の注※は以下のとおり。

※1 英語の 4 技能 ⇨ 「読む」「聞く」「話す」「書く」

※2 AP=アドミッション・ポリシー

⇨ 大学側が設定する「入学者受け入れの方針」

※3 学力の 3 要素

⇨ ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力

③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

今後、新たな情報が入り次第、随時お知らせします。

入試が変われば高校での授業展開も変化するでしょう。しかし、いずれにせよ確かな「実力」を身につけることが肝要です。

